

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
取付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。
作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。
このマフラーは、Ninja250R 08-(JBK-EX250K)用となっております。その他の機種(車両型式・年式)には取り付けられません(装着できた場合でも性能の保証は致しかねます)のでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。

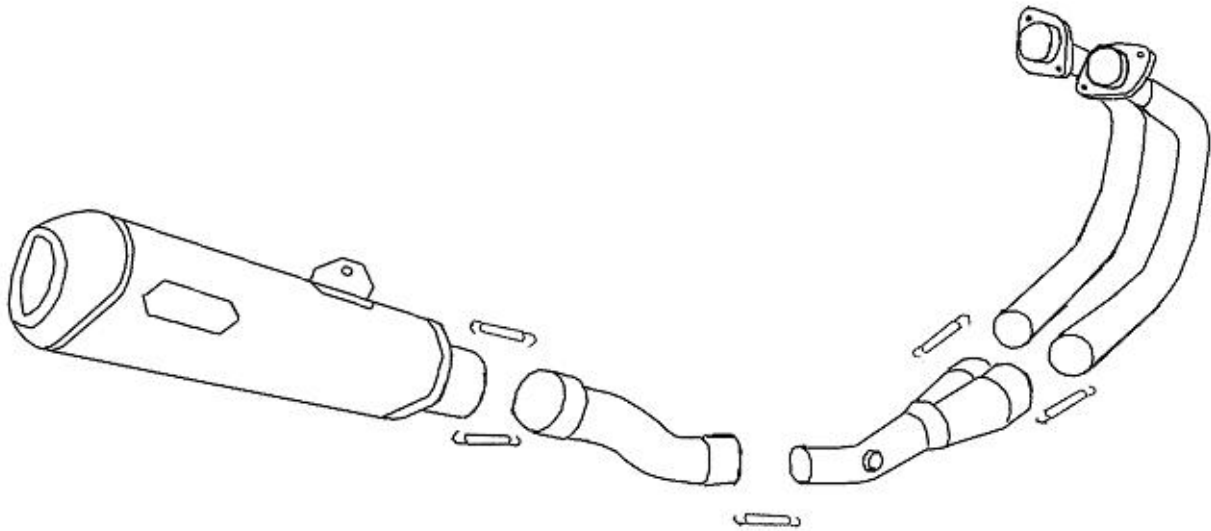


図1

純正マフラーの取り外し

純正マフラーを取り外します。マフラー・カウル・その他純正パーツの脱着方法に関してはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従ってください。

マフラー取り外しの際の純正ボルト・ナット類の一部はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさない様ご注意下さい。

パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
	エキゾーストパイプ #1	1
	エキゾーストパイプ #2	1
	ジョイントパイプ	1
	テールパイプ	1
	サイレンサー	1
-	スプリング	5

マフラーの取り付け

1) エキゾーストパイプの取り付け

エンジンに純正のナットを用いてエキゾーストパイプ#1・#2を取り付けます。ガスケットは新品をご使用下さい。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けたパイプが軽く動く程度)にしておいて下さい。次にジョイントパイプ、テールパイプを順に差し込みます。エキゾーストパイプ及びジョイントパイプの番号シールは位置関係を確認したら剥がして下さい(マフラー装着後に剥がすのは困難な為)。最後に各部にスプリングを掛けます。

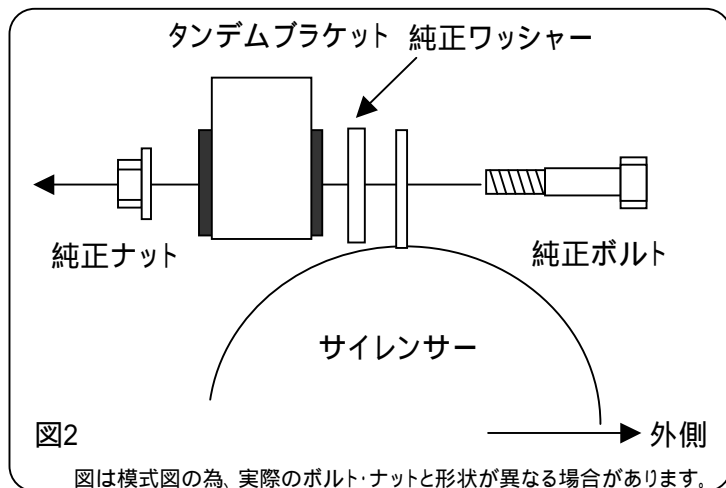
2) O2センサーの取り付け

ジョイントパイプのセンサー取り付けボスにO2センサーを取り付けます。センサーの配線がねじれない様に注意して作業を行って下さい。

スプリングを掛ける際、ラジオペンチ等を使用するとスプリングに傷が入り、スプリングが折れる原因になります。スプリングフックを使用して作業する事をお勧めします
各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を用いる事をお勧めします。

3) サイレンサーの取り付け
テールパイプにサイレンサーを差し込み、ワッシャー・純正ボルト/ワッシャー/ナットで純正マフラーと同じ位置に仮止めし、スプリングを掛けます。
(図2参照)

各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を用いる事をお勧めします。



4) 本締め

車体各部との干渉がない事を確認し、必要があれば調整を行いながら仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。締め込み具合により集合部やパイプの位置が動いてエンジンや車体とのクリアランスが変化するため、注意しながら作業を行って下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招く場合がありますのでご注意下さい。次にサイレンサーのボルト、ナットを本締めしてください。

最終確認

以上でマフラー取り付け作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。最後にカウル類を取り付け完成です。取り付け後、マフラーがカウルに干渉していない事を確認して下さい。

エキパイに手の脂等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。十分脱脂を行って下さい。(サイレンサーのエンブレム部にビニールシートが張り付けてある場合は事前に剥がして下さい。)

セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。最後にカウル類を取り付け完成です。取り付け後、マフラーがカウルに干渉していない事を確認して下さい。

定期的なボルト・ナットの緩みがない事を確認し、必要があれば増し締めを行ってください。

グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合があります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブラせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発 排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)

グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。

走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。

シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

本製品はJMCAの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。大切な書類ですので無くさない様、注意して保管してください。

転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL:059-378-3505 FAX:059-370-7811

WEB: <http://www.nojima-japan.co.jp> MAIL: info@nojima-japan.co.jp